

農 研 速 報

大豆の生育概況(龍ヶ崎市、最終版)

地域名	生育(作柄・品質)概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	<p>龍ヶ崎市における2022年の気象と大豆の生育経過、成熟期の生育および収量、品質の平年との比較は以下のとおりである。</p> <p>1) 気象(6月第4半旬～10月第6半旬) 日平均気温: 6月はやや高く(平年差+0.4℃)、7月は高く(平年差+1.3℃)、8月～9月は平年並で(平年差+0.2℃)、10月は少なかった(平年差-1.1℃、図1)。 降水量: 6月は平年比60%とかなり少なく、7月は平年比48%とかなり少なく、8月～9月は平年比83%と平年並で、10月は平年比43%と少なかった(図2)。 日照時間: 6月は平年比110%と長く、7月は123%とやや長く、8月は平年比91%と平年並で、9月～10月は平年比99%と平年並であった(図3)。</p> <p>2) 生育経過 里のほほえみ: 出芽期は6月24日と平年並で、開花期は7月29日と2日早かった(表1)。播種後35日の地上部の生育は、概ね平年並となった。播種後67日以降の地上部の生育は平年を上回った。播種後98日の一株莢数は少なく、一株莢重は平年を下回った(表2)。 納豆小粒: 出芽期は6月24日と平年並で、開花期は8月6日と1日早かった(表1)。播種後35日の地上部の生育は平年並～上回った。播種後67日以降の地上部の生育は平年並であった。播種後98日の一株莢数は平年並で、一株莢重は平年を下回った(表2)。</p> <p>3) 成熟期の生育および収量、品質 両品種の成熟期は2日～3日遅かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。 里のほほえみ: 成熟期は3日遅かった。倒伏は平年並、青立ちはやや多かった。地上部の生育は、主茎長はやや長く、主茎節数はかなり多く、分枝数、茎の太さは平年並であった。百粒重はやや重く、稔実莢数はやや少なく、不稔莢数は多かったため、子実重は33.7kg/aと平年よりやや重かった。外観品質は平年並であった(表1)。 納豆小粒: 成熟期は2日遅かった。倒伏、青立ちはやや多かった。地上部の生育は、主茎長はやや長く、主茎節数はやや多く、分枝数はやや多く、茎の太さはやや太かった。百粒重はやや重く、稔実莢数は平年並で、不稔莢数はやや少なかったため、子実重は37.6kg/aと平年よりやや重かった。外観品質は平年よりやや優れた(表1)。</p>

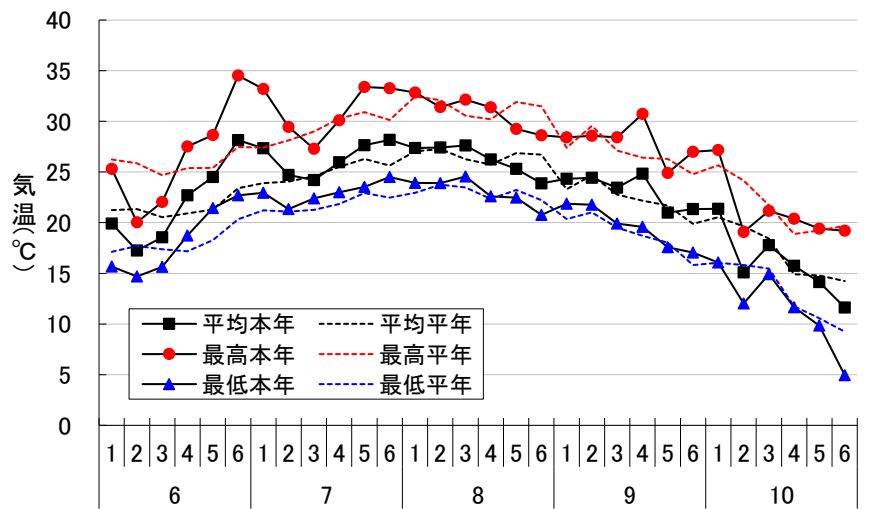


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

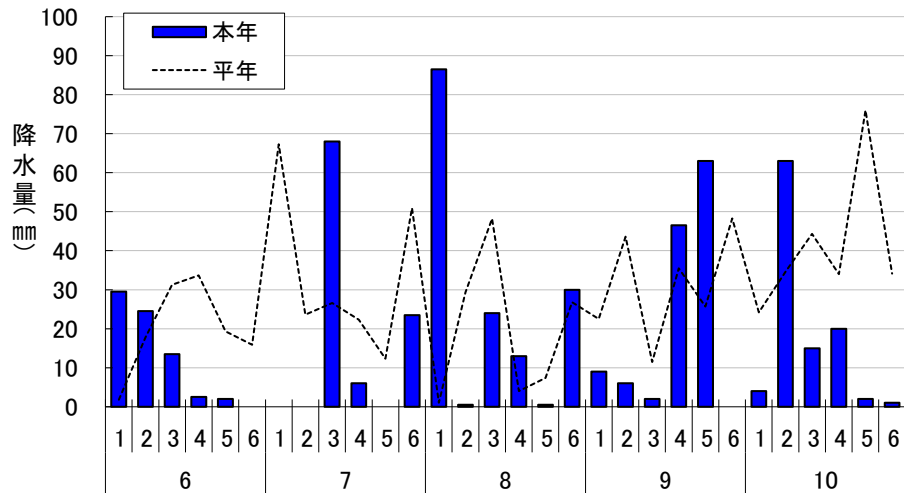


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

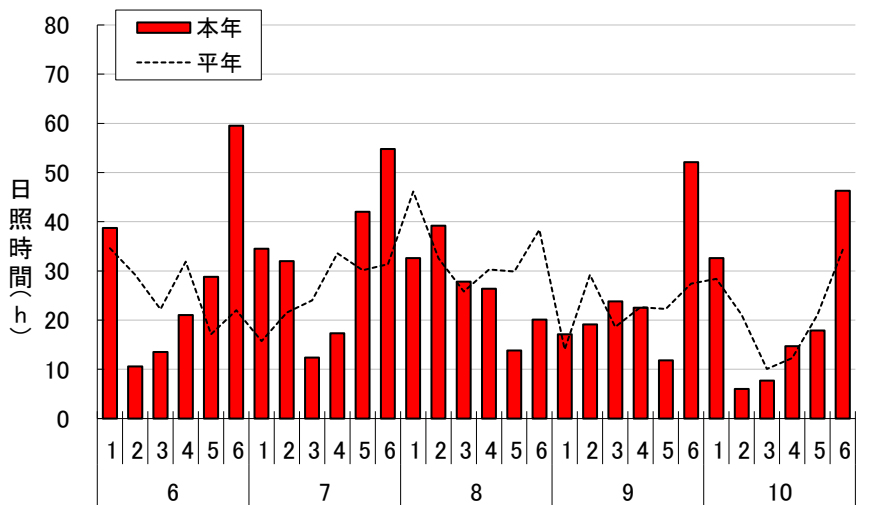


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育、収量、品質（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	出芽期		開花期		成熟期		倒伏程度		青立程度		主茎長		主茎節数		分枝数	
	本年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年差 (日)	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比
							(0-5)		(0-5)		(cm)	(%)	(節)	(%)	(本/株)	(%)
里のほほえみ	6.24	-1	7.29	-2	10.26	3	1.0	-0.3	2.0	1.0	71	115	20.8	144	3.9	93
納豆小粒	6.24	0	8.06	-1	10.29	2	4.0	0.6	1.0	0.3	83	118	17.4	106	10.4	124

品 種	茎の太さ		全重		稔実莢数		不稔莢数		子実重		百粒重		外観品質	
	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	平年比 (%)	本年 (g/100粒)	平年比 (%)	本年	平年
													(1-7)	
里のほほえみ	11.9	103	76.2	117	50.2	93	16.5	183	33.7	126	41.8	116	5.5	5.7
納豆小粒	10.7	108	81.7	124	188.5	104	19.0	72	37.6	136	11.3	110	5.0	5.5

【注釈】

- 1) 耕種概要と平年値は表1に準ずる
- 2) 茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 全重は、子葉節で切断した地上部の風乾後の重さ
- 4) 倒伏程度は、主茎傾斜角度により判定し、0 (5°以下)、1 (6~15°)、2 (16~25°)、3 (26~45°)、4 (46~65°)、5 (66°以上) とした
- 5) 青立程度は、0 (無)、1 (微)、2 (少)、3 (中)、4 (多)、5 (甚) とした
- 6) 子実重、百粒重は水分15%換算。子実重は「里のほほえみ」が7.3mm篩上、「納豆小粒」は4.9mm篩上かつ目視で選別した後の重さ
- 7) 外観品質は1 (上の上)、2 (上の中)、3 (上の下)、4 (中の上)、5 (中の中)、6 (中の下)、7 (下) とした

表2 輪換畑における大豆の生育経過（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	調査月日 (播種後日数)	主茎長		主茎節数		分枝数		茎の太さ		地上部生体重		一株莢数		一株莢重	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (節)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.25 (35)	46	128	12.1	121	1.1	113	9.9	110	82.8	143	-	-	-	-
	8.26 (67)	69	117	15.5	111	3.9	96	13.3	103	291.7	113	79.5	99	31.5	93
	9.26 (98)	71	118	15.6	110	3.6	81	12.9	102	296.6	100	66.5	94	103.4	90
納豆小粒	7.25 (35)	41	136	11.8	107	2.7	136	7.6	126	62.3	152	-	-	-	-
	8.26 (67)	85	118	17.9	112	7.5	93	11.7	106	241.9	98	169.9	114	7.5	106
	9.26 (98)	86	114	17.7	107	9.7	111	11.8	107	310.2	94	190.2	85	100.0	93

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換2年目（前作麦）
- 2) 播種：6月20日播種、11.1株/m²（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 3) 基肥：N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月11日、7月20日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 2) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成29年～令和3年播種の5ヵ年の平均値

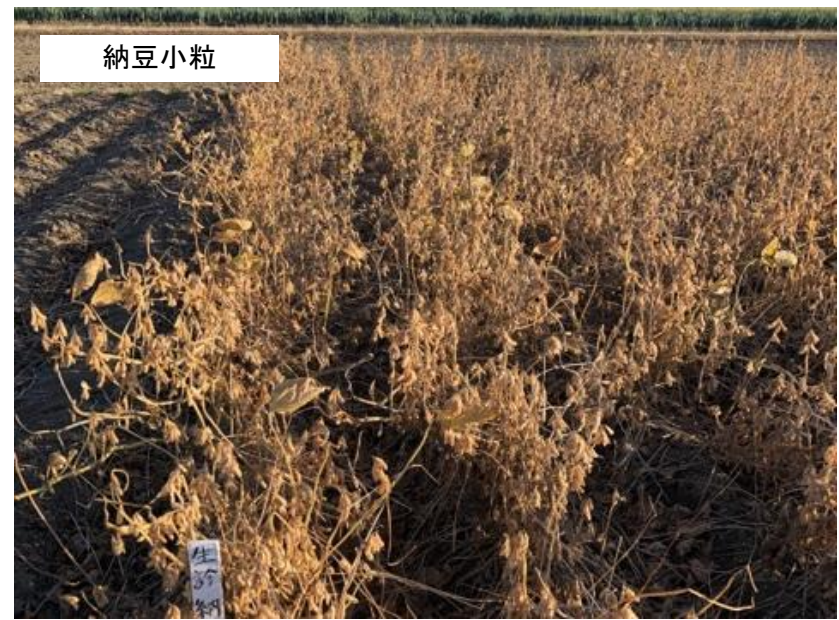


写真 所内大豆の成熟期頃の生育状況（「里のほほえみ」は2022年10月28日撮影、「納豆小粒」は2022年10月31日撮影）

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

